

平成 29 年 10 月 31 日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC、カーボン・ブラック社の EDR 製品を TIS 株式会社に導入 ～CarbonBlack 社 Cb Response 1 万台の導入事例～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表取締役：渡部進、以下略称：NVC）は、カーボン・ブラック社の EDR^{※1} 製品、「Cb Response」を基幹システムからアプリケーション、システム運用のプラットフォームを提供している T I S インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桑野 徹、以下略称：TIS）に導入いたしましたのでお知らせいたします。

※1 EDR: Endpoint Detection and Response エンドポイント上での脅威の検知と対応を行なうためのツール

1. 導入の背景

TIS は、セキュリティのエキスパートとして既知の脅威に関しては万全の対応を備えています。しかし、2020 年の東京オリンピックに向けて、日本向けの攻撃が増えていくと予想されている中で、より高度な未知の攻撃や標的型攻撃に対応するため、より強力な対策を探していましたが、いくつかの課題も抱えていました。

- ・各セキュリティ製品で管理システムが異なり、統合して把握する事が出来ない
- ・セキュリティ人材の不足で、休日や夜間の対応ができない
- ・導入済みのエンドポイント製品は機械的に脅威を判定していたが過検知も多く、生産性が低下。専門家による機械的ではない脅威の判定の必要性を感じていた

EDR のパイオニアとして世界中で多数の実績を持つカーボン・ブラック社の EDR 製品、Cb Response は、Trustwave 社が提供するマネージドサービスと合わせることでこれらの課題をクリアし、また、以下の点についても高く評価され、Cb Response の採用が決定されました。

- ・脅威の検知からタイムリーに隔離が可能である
- ・エンドポイントに入れても軽く、生産性を下げることがない
- ・導入済み製品との競合がない

2. 製品の特徴

Cb Response は、ソフトウェアの振る舞いを網羅的にモニタし継続的にログを収集、集中管理することで脅威を検出します。リアルタイムのインシデントハンドリングのための強力なログ調査と、感染したシステムに対するリモートからの完全な修復対応機能を提供するインシデントレスポンス※2ソリューションです。100%の防御が不可能な中で、侵入した脅威を迅速に検出し、正確な対応を行なうことをサポートします。

※2 インシデントレスポンス：脅威の発生（インシデント）に対して、原因の特定や駆除復旧などの対応を行なうこと

3. 導入機器

■ Cb Response 1万ライセンス

4. 導入の成果

TIS では、Cb Response の採用により、下記を実現しました。

- ・エンドポイント上で何が起きているかのアクティビティの把握
- ・Cb Response の検知と専門家の知見を生かした脅威の判定と対応の短時間化
- ・時間を要する復旧作業前に専門家による即時封じ込めを加えたインシデントレスポンス

5. 事例セミナーの開催

今回の導入に関して、下記のセミナーで TIS にご講演いただきます。

開催概要

EDR + IR「攻め」のセキュリティによる脅威対策セミナー

～PC 1万台を有する大手企業が採用した理由とは～

日時：2017年11月30日（木）14:00-17:00

会場：フクラシア丸の内オアゾ J ルーム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 15階 16階

共催：カーボン・ブラック・ジャパン株式会社、トラストウェーブジャパン株式会社
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

後援：TIS 株式会社

詳細：<http://www.nvc.co.jp/event/index.html>

6. エンドースメント

このたびの発表にあたり、エンドースメントをいただいております。

・カーボン・ブラック・ジャパン株式会社 カントリーマネージャー 西村 雅博

「今日、EDR の需要が日本でも喚起し、海外より同様の製品が数多く日本へ進出して来ている中で弊社製品をご選定頂いたことに感謝しますと共に、ご満足を頂けることを確信して

おります。弊社グローバルパートナー様であります Trustwave 社様の MDR サービスのご提供、並びに、NVC 社様と共に万全のサポートをご提供させて頂く所存です。

この度の導入が日本における EDR 対策の重要性を更に喚起するものと確信しております。」

※3 MDR: Managed Detection and Response インシデントの検知とレスポンスを、マネージドサービスとして提供すること

7. その他

【TIS 株式会社について】

T I S インテックグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で 3000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。詳細は以下をご参照ください。

<http://www.tis.co.jp/>

本社所在地 東京都新宿区西新宿 8 丁目 17 番 1 号

設立 1971 年 4 月創業 2008 年 4 月設立

資本金 10,000,000,000 円

代表者 代表取締役社長 桑野 徹

【Trustwave 社について】

Trustwave はお客様がサイバー犯罪と戦い、機密情報を保護し、セキュリティリスクを下げるお手伝いをします。クラウドおよびマネージドセキュリティサービスや統合技術の他、セキュリティエキスパート、倫理的ハッカー、リサーチャーなどのスタッフによって、Trustwave は企業による情報セキュリティおよびコンプライアンスプログラムの管理のあり方を変革します。脅威管理や脆弱性管理、コンプライアンス管理に自動化・効率化そして高いコスト効率を提供する Trustwave TrustKeeper (R) クラウドプラットフォームには、300 万社以上の企業が登録しています。Trustwave の本社はシカゴにあり、96 か国にお客様がいます。Trustwave について詳しくは <https://www.trustwave.com> をご覧ください。

本社所在地 東京都目黒区下目黒 1 丁目 6 番 1 号

設立 2016 年 10 月登記 2016 年 12 月末サービス提供開始

代表者 小林容樹

事業内容 Trustwave のマネージドセキュリティサービス、脆弱性管理サービス、コンプライアンス管理サービスおよび製品の販売、サポート

【カーボン・ブラック・ジャパン株式会社について】

Carbon Black, Inc. 社の 100%子会社で 2017 年 2 月 1 日より日本における販売活動を開始。

Carbon Black 社は 2002 年より、エンドポイントセキュリティに特化した製品を提供しています。最先端の技術と最新の情報を融合させたユニークな製品は、デファクト製品として世界のセキュリティ対策に貢

献しています。

本社所在地 東京都千代田区丸の内 1-6-2 新丸の内センタービル 21 階
電話 : 03-3216-7358
設立 法人登記 : 2016 年 10 月 オフィス開設 : 2017 年 2 月
代表者 カントリーマネージャー 西村 雅博
事業内容 NGAV: Cb Defense 製品, EDR: Cb Response 製品
アプリケーションコントロール : Cb Protection 製品の販売・サポート

【株式会社ネットワークバリューコンポネンツについて】

ネットワークバリューコンポネンツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルテーション、構築・保守、マネージドサービス・クラウドサービスの提供まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウを駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地 神奈川県横須賀市小川町 14-1
設立 平成 2 年 4 月
資本金 381,493,550 円
代表者 代表取締役 渡部 進
従業員数 83 名 (平成 28 年 12 月末現在)
事業内容 コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルテーション、監視・管理、運用サービス
主要仕入先 Aruba Networks, an HP company, Array Networks, CarbonBlack, Darktrace, FireEye, Fortinet, Imperva, NIKSUN, Nutanix, RedSeal, ThreatSTOP, Versa Networks ほか
URL <http://www.nvc.co.jp/>

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当 : 大塚 TEL 03-5714-2050 E-mail press@nvc.co.jp